

# 砂防工事専用軌道の被害状況について

## (R6.6.24現在 七郎堰堤付近の斜面崩落)



立山砂防事務所の砂防工事専用軌道は、点検で多くの箇所です砂・岩盤の崩落や落石が確認され、詳細な調査や軌道の復旧工事が鋭意行われています。その中で斜面崩壊の規模が最も大きかった七郎堰堤付近の斜面崩落状況について報告します。

崩壊箇所の発生源は山の尾根付近で、軌道から約110mの高さから土砂と巨石が崩れ落ち、軌道の横に設置してある落石防護柵が倒壊・損傷し、被害が軌道に至りました。発生源周辺には、現在も不安定な巨石や崩落土砂の堆積等が確認されています。これから梅雨・台風など大雨の季節を迎える中、再び斜面崩落の発生が懸念されるため、安全を最優先に斜面对策工事を進めてまいります。

